

グリーンニュース 第8号

発行年月日 平成12年7月18日

発行責任者 群馬県環境アドバイザー連絡協議会

代表 新井 栄一

環境アドバイザー重点行動テーマ

行動する環境アドバイザー

・・・研修・情報交換の場を広く・・・

◎ 平成12年度「群馬県地域環境学習講座」

…昨年比 6割増 23団体 112回 (予定)…

昨年に引き続き行われる群馬県主催の『地域環境学習講座』は、皆様のご協力により、本年度は、23団体・112回（昨年度は14団体・70回）行うことになりました。申請の部門別内訳（主管部門）は、次の通りです。

	平成12年度		平成11年度	
環境アドバイザー	17件	83回	11件	55回
N P O	3件	15回	2件	10回
環境庁カウンセラー	3件	14回	1件	5回
合計	23件	112回	14件	70回

アドバイザーの皆様も地域・テーマ等を勘案し、自由に参加してください。（詳細別紙1）

◎ グリーンコンシューマー実践活動の お願いと宣言文提出について

グリーンコンシューマーという言葉とその趣旨を理解し、且つ実践活動をしていただくため、今回、『グリーンコンシューマー群馬ネット』の申し合わせにより、アドバイザーの皆様にも宣言文の提出をお願いすることになりました。（詳細別紙2）

◎ アドバイザーの登録者数 601名に

アドバイザーの登録者数は、その後も追加登録があり、六百の大台を越え、六月末現在601名になりました。

情報コーナー

1 条例・PRTR法説明会について

「群馬県の生活環境を保全する条例及び「PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）」の説明会を開催します。

- ◆内容 10:00～12:00 PRTR法
13:00～16:00 群馬県の生活環境を保全する条例

部分参加も可能です。

◆申込方法

「住所・事業所名・参加人数・参加希望日・担当者名・電話番号・FAX 番号」を記入の上、参加を希望する地区の保健福祉事務所環境課に、ハガキまたはFAXでお申し込み下さい。（入場無料です。）

- ◆申込期限 各開催日の3日前まで（先着順で定員になり次第締め切ります。）

◆問い合わせ先

会場については、各保健福祉事務所へ

条例・PRTR法については、県庁環境保全課環境指導担当へ

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 TEL 027-226-2833 FAX 027-243-7704

- ◆御来場の際は、昼食を各自でご用意下さい。

◆日程表

地区	開催	会場	定員	申込先（各保健福祉事務所環境課）
藤岡	7/25(火)	藤岡市民ホール 藤岡市藤岡1567-4 TEL 0274-22-3305	300	藤岡保健福祉事務所 〒375-0012 藤岡市下戸塚2-5 TEL 0274-22-1420 FAX 0274-22-3149
太田	7/28(金)	東毛学習文化センター 太田市飯塚町1549-2 TEL 0276-48-6226	400	太田保健福祉事務所 〒373-0033 太田市西本町41-34 TEL 0276-31-2517 FAX 0276-31-8349
沼田	7/31(月)	昭和村公民館 昭和村糸井405-1 TEL 0278-24-5120	300	沼田保健福祉事務所 〒378-0016 沼田市清水町4290-2 TEL 0278-23-2185 FAX 0278-22-4479
渋川	9/1(金)	渋川合同庁舎302会議室 渋川市395 TEL 渋川保健福祉事務所へ	80	渋川保健福祉事務所 〒377-0027 渋川市金井394 TEL 0279-22-4166 FAX 0279-24-3542
桐生	9/6(水)	桐生商工会議所 桐生市錦3-1-25 TEL 0277-45-1201	270	桐生保健福祉事務所 〒376-0011 桐生市相生町2-351 TEL 0277-53-4131 FAX 0277-52-1572
高崎	9/7(木)	高崎市中央公民館ホール 高崎市末広町27 TEL 027-322-5071	350	高崎保健福祉事務所環境部 〒397-0132 安中市高別当336-8 TEL 027-381-0345 FAX 027-382-6366
伊勢崎	9/11(月)	群馬県総合教育センター 伊勢崎市今泉町1-233-2 TEL 0270-26-9211	400	伊勢崎保健福祉事務所 〒372-0024 伊勢崎市下植木町499 TEL 0270-25-5066 FAX 0270-24-8842
中之条	9/13(水)	中之条町ツインプラザ 中之条町大字伊勢町1005-1 TEL 0279-76-3111	190	中之条保健福祉事務所 〒377-0425 中之条町西中之条183-1 TEL 0279-75-3303 FAX 0279-75-6091
富岡	9/19(火)	富岡市生涯学習センター 富岡市七日市400 TEL 0274-62-1531	60	富岡保健福祉事務所 〒370-2316 富岡市富岡1344 TEL 0274-62-1541 FAX 0274-64-2397
館林	9/21(木)	館林市文化会館小ホール 館林市城町3-1 TEL 0276-74-4111	150	館林保健福祉事務所 〒374-0066 館林市大街道1-2-25 TEL 0276-72-3230 FAX 0276-72-4628
前橋	9/26(火)	群馬県公社総合ビル 前橋市大渡町1-10-7 TEL 027-255-1166	300	前橋保健福祉事務所 〒371-0033 前橋市国領町2-21-22 TEL 027-231-7721 FAX 027-231-7460

2 環境カウンセラーの募集について

環境カウンセラー制度は、環境保全に取り組もうとしている市民団体や、事業者等の各主体に対して、きめ細かな助言を行える人材を審査し登録する制度です。環境庁では、現在下記の日程で登録を募集しています。詳しくはお住まいの市町村環境担当課、県庁環境政策課（電話：027-226-2817）までお問い合わせ下さい。

申請期間：平成12年9月1日（金）～9月30日（土）まで

地域ニュース

子どもエコクラブ「ヤマメクラブ」の紹介

環境アドバイザー 長岡 晴美 (甘楽町)

平成九年六月に環境庁子どもエコクラブに五名で登録し、十二年四月現在二十名で登録更新しております。ヤマメクラブ名の由来は清流の女王であるヤマメがいつまでもすめらばらしい環境が続くようにとの願いからです。活動日は毎月第二、第四土曜で主に清掃活動と体験学習を行っております。メンバーは小三から中二迄、サポーターは大人五名の構成です。今迄の主な活動として、水質調査、カバ新聞発行、樹木の蒸散量調査、こんにゃく作り、そば作り農業体験、廃油石けん作り、宇宙開発事業団の向井さんと植物実験、また甘楽町桜まつり武者行列、さくらマラソンも毎年参加しております。なおボランティア活動として、海外へ送る絵本に現地の言葉を貼るお手伝いや、牛乳パックをトイレトーパーに交換して頂き、それを町のデイサービスセンターに寄附する活動も毎年行っております。平成十一年には、中学校の環境教育セミナーで活動発表し、十二年三月には、子どもエコクラブ全国フェスティバルIN長野に群馬県代表として参加も致しました。以上活動を楽しみながら地球と共存の道を探るエコクラブでした。

のびのび楽しく粕川キッズエコクラブ

環境アドバイザー 内山 恵子 (粕川村)

村内の中学校1校・小学校2校の生徒19名と、サポーター3名で活動しています。毎年4月登録のため、3校に募集の呼びかけをお願いして、今年で5年目を迎えました。年度の初めには、中学生がリーダーになって、活動内容や、活動日を決めたりして、年間計画を立てます。再登録の会員が多いため、活動内容は、継続しているものが多く、主なものは「ホタルが自生している山伏川のクリーン作戦」「カワエナ養殖水路の整備観察」「リサイクルできるごみの集団回収」「村内の川の水生生物調べ」「ごみを不法投棄された里山のクリーン作戦」「自然観察会」などです。粕川にはまだまだ魚やいろいろな水生生物が住めるきれいな川が残っていて、子供達は本当に目を輝かせて自然と向き合い遊べます。そんなとき、とても優しくなる子供達を見ていて、私は、ほっとした気持ちになります。この豊かな自然をこれからの子供達に残すことが、私達大人の責任だと思うのです。自然の中で、遊ぶ事の本当の楽しさから、その貴重さに気づいてくれるでしょう。自分達でわからないことは、講師をお願いしたり、多くの方々の協力を頂きながら活動しています。

子どもエコクラブは未来の環境アドバイザー

環境アドバイザー 城田 博巳 (前橋市)

21世紀は環境の時代。

21世紀は子どもたちの時代。

これは今私たち共通の合言葉です。

21世紀に向けて、まさにこのテーマを自分たちの問題として考え、学び、行動しようとしているのが「子どもエコクラブ」です。環境問題を考える際、最も有力で可能性のある組織として私は位置づけています。

環境庁や県・市町村がその事務局となっているわけですから、子どもたちの健全育成や明日の地域を支える人材育成といった百年の計を考えるのであれば、この「子どもエコクラブ」を行政も含めアドバイザーの方々からサポーターになって、ぜひ大きく育てる努力をして欲しいものです。

さて、前置きはここまでにして、私自身がサポーターをしている「元総社エコクラブ」一わんぱく探検隊一のことについて概要だけ報告します。発足は平成9年5月、当地区内3つの小学校から25名の子が参加、年々増えて今年では43名となりました。小学2年生から中学3年生まで全学年が揃った異学年集団です。大人のサポーターも常時15名程が交代で子どもたちの活動を手伝っています。

活動は年度始めに市役所へ登録、安全保険加入手続き完了後具体的に動き出します。年間を通じて6~7回のトレーニング(話し合い、打ち合せ、連絡、学習会など)、9~10回のアクション(研究調査、野外活動、地域行事など)に取り組んでいます。主なものは5月、7月、9月の清掃活動、8月のキャンプ、森林教室、9月牛池川調査、10月地域でのリサイクル、バザー、2月の雪山スキー、その他市・県・全国フェスティバルへの参加などです。

これらの活動も強制ではなく、子どもたちの自主性を尊重してやっていますが、平均各参加率は8割くらいです。今の子どもたちもけっこう多忙ですが、エコクラブに集ってくる子どもたちの笑顔は輝いていて、私たちの方が元気づけられてしまいます。

2002年の完全学校5日制に向け、学校でも総合学習、環境教育に取り組みつつあります。全ての学校にエコクラブを、少なくとも中学校区域に1つは「子どもエコクラブ」を作り、学校と地域が連携して環境問題に取り組めば、21世紀への展望も見えてくるでしょう。アドバイザーの皆様にも一肌脱いでいただければ、さらに展望が開けてくるでしょう。

ドイツ・ヨーロッパ最新情報

☆ ごみを家庭に持ち込まない ☆

平成12年5月21日から31日まで、9泊11日の行程で、中部ヨーロッパのフライブルグ(ドイツ)、ブレゲンツ(オーストリア)、ツェルマット(スイス)の3ヶ所を旅して来ました。その最新情報をお知らせします。

◎ ペットボトルもデポジット

ドイツでも、オーストリアでも、ペットボトルのデポジット制度が定着し、びんの『自動戻し機』まで既に、設置されていました。容量毎のペットボトルは、厚く丈夫に作られており、同じ形のもので、飲料水の中身により、紙のラベルで使い分けるといった方式を採ってしました。

その中身及び預り金(びんを戻すとお金が返る)の価格は、次の通り(レシートから転記)

フライブルグ(ドイツ)		ブレゲンツ(オーストリア)	
MINERALU	1 0.39 DM ミネラルウォーター	COLA 1.5L	14.90 08 コカコーラ 1.5リットル
PFAND	1 0.30 DM ブフアント預り金	PFAND	4.00 08 ブフアント預り金
SUMME	1 0.69 DM スメ 合計	SUMME	18.90 08 スメ 合計
…1DM(ドイツマルク)は約80円…		…1OS(オーストリアシリング)は約10円…	

☆ 注記 びんのサンプル、レシートとも、持ち帰っておりますので、次回(秋に予定)の宿泊研修会時にでも、皆様にお見せ出来ると思います。

◎ 姿を消したポリ容器

トレイ等ポリ容器であふれている日本に比較し、ヨーロッパでは、野菜・果物・肉売り場等、殆どでポリ容器は見当たりません。(有っても紙製です)

野菜・果物類は、すべて“ばら売り”で、消費者は必要なものだけを薄い袋に入れ、近くにある“はかり”で計量し、価格シールを貼り、レジに持って行きます。

肉類は、対面販売のブロック売りが殆どで、買ったものは、ポリの薄い膜を貼った紙で簡単に包むだけです。勿論、レジ袋はいっさいくれません。とにかく、消費者が買い物をして、ごみが家庭に持ち込まれない(家庭に行かない)ような川上対策のシステムが出来ているのです。

◎ クリーンエネルギーと交通対策

風力発電への補助金、生ごみから発生するメタンガスによる発電の実用化、太陽エネルギー配慮住宅への助成金等、州・市単位で、クリーンエネルギーの開発に、懸命に努力をしていました。さらに“パーク・アンド・ライド”のシステムも、市を中心としたいくつかの広域圏で実施されており、(1)都市部への車の乗入れ規制と廃ガス対策、(2)公共交通機関の利用度アップに貢献していました。

☆ 注記 パークアンドライドとは、郊外の駐車場に車を置き、最寄りの駅から公共交通機関を使って都市部へ行く、という制度で、タイム制の切符も利用されていました。

◎ 生ごみの扱いは自治体(但し、容器は有料貸出し)

包装容器のごみは、すべて無料でDSD(容器メーカー等が負担金で出資した会社)が扱います。それに対し、生ごみは自治体で扱いますが、有料で各世帯毎と、“ごみ容器の貸し出しの契約”を結び、その容器分のみ自治体が回収するという方式をとっています。

以上 2000年7月 文責 連絡協議会 書記 鈴木克彬